

## ■分断と両立■

ほぼ週刊【松村拓也のメルマガジン】第 437 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてほぼ毎週お届けしています。

名刺交換した方や、突然思い出した方にもお届けしますので、ご迷惑であればお知らせください。

できれば勤務先でなく、個人のアドレスにお届けしたいので、ご連絡ください。

ご意見、ご質問大歓迎です。

.....

## 437 目次

1. ご挨拶とお誘い
2. ブログより：分断と両立
3. 今週の動向+今後の予定
4. 地主の学校・販売中
5. アクセスポイント：問い合わせ先
6. このメルマガについて

.....

### 1. ご挨拶とお誘い

先週は、8/23 オンラインで面談後、速攻でフリーパートナー契約して下さった TA さん、そして 8/25 亡くなった友「濱川君」の情報をわざわざ届けて下さった NS さん、本当にありがとうございます。

僕はオンラインでの面談や SNS からの問合せには、あまり期待していませんが、友人を介してのお問い合わせには必ず反応しちゃいます。

でも、あの世に逝った後もまだ人を繋ぐ力があるなんて、僕もそんな人になりたいと思いました。

ちなみに濱川君は、唯一人 amazon で地主の学校にレビューを書ってくれたので、勝手に引用します。

.

「地主」という言葉は小学校の社会で習い、誰でも知っている言葉である。しかし「地主」とは正確には何なのか？それはいつから始まった言葉なのかについて、少しでも具体的に答えられる人は稀であろう。「地主」は元々「じしゅ」と呼ばれていた。

本書は「地主」の歴史から始まり、現状の問題、課題を具体的に触れつつ実行可能な「みんなで地主」を目指し一部の経済エリートでなくてもエリートになれる日本を目指すための書である。

平易な文章で書かれているが、決してすらすら読めるわけではない。それは歴史的事実を俯瞰しつつ、具体的なデータを示し、そして論理的であるからである。逆に言えば「今は大体こんな感じなんですよ、だから今後こんな感じ」的な作者の主観、思い込みをさも世の中に現状であるかのように読者に錯覚させる世にある啓蒙本やビジネス本とは一味違う。だから理解した読後の納得感が非常にある。

実際にどのような行動を取るかは人それぞれであろうが、現在、この狭い日本でこのからの土地活用に対して何等かの行動を起こしたいと考えている人そして自分あるいは自分の周りで土地に関して具体的な課題を抱えている人にも必読の書である。

.

今週も予定はスカスカですが、皆さんからの相談に応えるために空けておきます。

あと、名栗の森オーナーシップクラブの8月例会は、9/3に延期しました。

興味のある方、お問い合わせお待ちしております。

.....

## 2. ブログより：分断と両立

目的とは、成し遂げようとするのが、行為の目指すところ。

ギリシャ語の  $\tau\epsilon\lambda\omicron\varsigma$  (テロス)、英語の goal (ゴール) にあたる。

目的は最終到達点で、目標は目的に辿り着くための通過点。

他人に目的を尋ねる時「何のために？」と問うことから、僕はこれを「なぜ (why)」と問う。

だが、「なぜそんな事をするのか？」という質問は、目的というより理由を尋ねているようにも思える。

そこで僕は、目的のことを「未来の理由」と言ったりもする。

目的のない行動は、真似か惰性か偶然だ。

自分の意思で行動するときの、その意思を「目的」と言う。

今日はこの「目的」について話したい。

・

ビジネスは、営利と非営利に大別できる。

両者の違いは名前の通り、営利を目的とするか否かということだが、それは「儲ける」ことでなく「儲けを配分する」ことだ。

トヨタという会社そのものは、株主に対する配当つまり営利を目的としているが、顧客に対して「配当のために車を作っています」などとは絶対に言わない。

多くの人が、明確な目的を持たずに生きているとしたら、目的が意外と語られないことに起因しているかもしれない。

むしろ、全てのビジネスが環境とか福祉とか「営利以外のこと」を目的化しているので、目的は「究極のきれいごと」になりつつある。

だが僕は、こうした「目的の形骸化」に違和感を越えて危機感すら感じている。

・

まず、ビジネスの定義をおさらいしよう。

ビジネスとは営利や非営利を問わず、また組織形態を問わず、その事業目的を実現するための活動の総体をいう。

したがって、ビジネスの主体者としては株式会社などのような営利企業だけでなく、NPO などの非営利活動法人や住民サービス提供などを行う行政組織等を含み、個人または法人組織などの事業体がそれぞれの事業目的の実現のために人・物・金・情報などの諸資源を活用して行う活動全体を意味する。

つまりビジネスは目的実現のためにじたばた忙しくすること (ビジーネス) と僕は説いた。

目的 why の実現のため、いつ when どこで where 誰が who どんな方法 how で取り組むビジネスを何 what と呼ぶかを考えるセミナーを展開し、このブログもそこから生まれてきた。

・

話を営利と非営利の違いに戻そう。

営利の目的は「利益の配分」で、非営利はそれ以外つまり「利益を配分してはいけない」と定められている。

ビジネスは、目的の実現を目指して頑張ることだが、それは実現するとは限らない。

営利ビジネスは配当を目指すが、たとえ配当できなくても構わないし、多くの株式会社が配当などしていない。ところが、「配当以外」を目指す非営利ビジネスは、配当が禁じられていて、目的以外を目指すことが目的を目指さないことを意味している。

これを営利ビジネスに当てはめるなら、営利ビジネスは「配当を目指さないこと」が禁じられていることになる。

これこそが僕が見つけた落とし穴だ。

営利ビジネスは、利益の配分を目指さなければならない、つまり利益の配分が望めないビジネスを禁じられているということだ。

・

営利と非営利のどちらが大切か、、、そんな議論をしたい訳では無い。

問題は、目的こそがすべてを決める前提条件であるということだ。

これは義務より厳しいし、その反対は絶対的な禁止事項となる。

目的を実現するのが方法なら、その是非は目的実現への適否となる。

富士登山を目指す人が小田急線に乗るのは正しいが、エベレストに登りたいなら羽田か成田に行くべきだ。

方法とは、実現のために行われるすべての行為（ビジネス）のことなので、それらの適否、正誤、善悪すべてが目的次第で決まってしまう。

紙に書いただけ、頭で考えただけ、心で思っただけの目的が、すべてを決めているなんて、あなたは自覚しているだろうか。

・

そんなに大切なことなら、なおさら決められないとあなたは思うかもしれない。

自分の最終到達点など、僕だって答えられない。

だが、先ほども述べたとおり、紙にも書かず、頭でも考えず、心で思うだけの目的を、誰が認めたり咎めたりできるだろう。

目的は確かに最終到達点かも知れないが、それを決められるのは自分自身だけ。

もし目的に違和感を感じたら、いつでも修正すれば良い。

重要なのは、行先を決めることで、行先を決めずに歩くこと自体が恐ろしい。

立ち止まり停滞する人々の多くが、行先を見失い、歩き出せずにいるのではないだろうか。

・

そこで僕は、「会社＝営利、社会＝非営利」と解釈を拡大する。

これはビジネスの表裏的關係で、表の顔がどちらかの違いに過ぎない。

むしろ「営利と非営利」の違いは、「自分の利益と自分を含むみんなの利益」と考えた方が良い。

ここで気を付けなければならないのは、「主体者である自分」が「個人または法人組織」の別に関係ないことだ。人は所属する組織を代表するときと、自分個人とでは立場が違う。

組織に所属するトヨタの営業マンなら会社の利益、役所の職員なら市民の利益が目的だ。

家計を賄う個人としては収入を得ることが最優先だが、自身の幸福を求めるなら報酬以外の満足感かもしれない。

無人島で独り暮らしする以外、誰もが社会（みんな）と会社（自分たち）に所属する。

自分たちだけは滅びないように稼ぎたいが、周りのみんなを滅ぼして生き残る訳にはいかない。

・

営利とそれ以外（非営利）という分類は、どちらかを選ぶのではなく、むしろ両立を目指すべきだと僕は思う。

さらに言えば、会社と社会双方の利益、自分自身とみんな双方の幸福を目指すべきだと僕は思う。

これまで営利ばかり考えてきた人は非営利を、そしてその逆の人は逆を目指す必要が有る。

「最終目的」を一つにまとめようとするから、政治は戦争をやめられない。  
世界を二つのまなざしで見て、二つの目的を持つことで、無目的の盲目状態から開眼したい。  
そのために、「みんなをどうしたいか」と「自分をどうしたいか」の双方をいつも考えたい。

<https://nanoni.co.jp/20230827-2/>

.....

### 3. 今週の動向+今後の予定（下記以外はすべて空いてます）

【凡例】◎：要連絡、○：要申込、×：一般参加不可

#### ■今週の動向

- (火) 08/29 なのに（世田谷）作業日  
会議×：10-12時 FP 山中さん（笑恵館）
- (水) 08/30 なのに（世田谷）作業日
- (木) 08/31 なのに（世田谷）作業日  
会議×：13-15時 児相 MTG（笑恵館）
- (金) 09/01 なのに（世田谷）作業日
- (土) 09/02 なのに（世田谷）作業日  
交流◎：10-17時 よろず相談会\_土（笑恵館）
- (日) 09/03 なのに（各所）作業日  
交流○：10-14時 名栗の森 OSC 例会\_4日（飯能）
- (月) 09/04 なのに（世田谷）作業日

#### ■今後の予定

- 09/09 交流×：11-13時 松本国際高校グラウンド落成式（松本）
- 09/10 会議×：10-12時 100smiles 定例会\_2日（いづみ）
- 09/10 交流◎：12-18時 いづみ交流会\_2日（いづみ）
- 09/11 会議×：18-20時 なのに MTG\_2月（成城）
- 09/12 会議○：20-21時 LR 定例会議\_2火（オンライン）
- 09/14 会議◎：17-19時 笑恵館運営会議\_2木（笑恵館）
- 09/16 交流◎：13-17時 よろず相談会\_土（笑恵館）
- 09/16 会議○：10-12時 八島花文化財団理事 MTG\_3土（オンライン）
- 09/21 交流◎：13-18時 なるほどデイ\_3木（笑恵館）
- 09/21 交流◎：18-20時 持ち寄り食事会\_3木（笑恵館）
- 09/21 会議○：20-22時 AR・Q ミーティング\_3木（オンライン）
- 09/23 交流○：18-20時 住人食事会\_4土（笑恵館）
- 09/24 交流○：10-14時 名栗の森 OSC 例会\_4日（飯能）
- 09/26 会議○：20-21時 LR 定例会議\_4火（オンライン）
- 09/28 交流◎：10-12時 笑恵館 de シネマ\_4木朝（笑恵館）
- 09/28 会議◎：17-19時 笑恵館運営会議\_4木（笑恵館）
- 09/29 交流◎：19-21時 笑恵館 de シネマ\_4木夜（笑恵館）

松村の予定はこちらで随時公開しています。

<http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

#### 4. 地主の学校・販売中

拙著【地主の学校】はこちら

<https://www.bungeisha.co.jp/bookinfo/detail/978-4-286-23339-0.jsp>

セミナー、読書会など気軽にご相談ください。

.....

#### 5. アクセスポイント

松村拓也

メール [takuya@nanoni.co.jp](mailto:takuya@nanoni.co.jp)

携帯 090-9830-3669

自宅：

〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-27-19 笑恵館

<http://shokeikan.com/>

主な所属団体：

株式会社なのに（取締役・平社員）

<http://nanoni.co.jp/>

一般社団法人日本土地資源協会（代表理事）

<http://land-resource.org/>

特手非営利活動法人 HOME-FOR-ALL（事務局長）

<http://www.home-for-all.org/>

一般社団法人地域社会圏研究所（事務局長）

<https://www.localrepubliclabo.com/>

.....

#### 6. このメルマガについて

松村拓也とご縁のあった方に、日々の活動やブログ記事などの情報をほぼ毎週お届けします。

参加希望、ご意見、ご質問など、何でもこのメールに返信してください。

バックナンバーはこちら

<http://nanoni.co.jp/magazine/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://eepurl.com/dHjgFX>

まぐまぐ版はこちら

<https://www.mag2.com/m/0001693746>

